

安全データシート

作成日：2022年1月24日

改定日：2024年3月19日

1. 製品及び会社情報

製品名：かびとりいっぱつ

会社名：鈴木油脂工業株式会社

住所：〒533-0021 大阪市東淀川区下新庄 1-8-23

担当部門：クリーンシステム部

電話番号：06-6476-7567

FAX 番号：06-6326-0181

緊急連絡先：同上

推奨用途及び使用上の制限：黒カビの除去

想定される用途及び当該用途における使用上の注意：

タイル目地・ゴムパッキン表面の黒カビの除去、適切な保護手袋、衣類及び眼、顔面用の保護具を着用する。局所排気、全体換気を行う。皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいけません。取扱い後はよく手を洗う。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

金属腐食性化学品	区分 1 (H290)
皮膚腐食性/刺激性	区分 1 (H314)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1 (H318)
水生環境有害性 短期 (急性)	区分 2 (H401)
水生環境有害性 長期 (慢性)	区分 2 (H411)

GHS ラベル要素

【絵表示又はシンボル】



注意喚起語

危険

危険有害性情報

金属腐食のおそれ(H290)
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷(H314)
重篤な眼の損傷(H318)
水生生物に毒性(H401)
長期継続的影響によって水生生物に毒性(H411)

注意書き

【安全対策】

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)

他の容器に移し替えないこと。(P234)
環境への放出を避けること。(P273)

【応急措置】

物質被害を防止するため流出したものを吸収すること。(P390)
漏出物を回収すること。(P391)
吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
皮膚（又は髪）に付着した場合： 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。(P363)
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
(P303+P361+P353)
眼に入った場合： 水で数分間、注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)
直ちに医師に連絡すること。(P310)

【保管】

施錠して保管すること。(P405)
耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。(P406)

【廃棄】

内容物/容器を自治体の規則に従って廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別：混合物

成分名	CAS No,	含有量 (重量%)	化学式	官報公示整理番号	
				(化審法)	(安衛法)
次亜塩素酸塩	—	—	—	—	—
増粘剤	—	—	—	—	—
非イオン界面活性剤	—	—	—	—	—
水酸化カリウム	1310-58-3	0.9	KOH	—	—
染料	—	—	—	—	—
精製水	—	—	H ₂ O	—	—

注意：上記記載の—は、不明又は非公開を示す。

4. 応急措置

吸入した場合： 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当てを受けること。水でうがいをする事。
皮膚に付着した場合： 多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激が生じた場合は医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合： 口をすすぐこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。
応急措置をする者の保護： 救助する者は、ハロゲンガス用防毒マスクを着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤： 本製品は引火しない。
使ってはならない消火剤： 特になし。
消火方法： 周囲の火災に適応した消火方法を取る。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	作業の際は、適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やミストの吸入を避けること。
環境に対する注意事項：	流出した製品が河川等へ排出され、環境へ影響を起ささないよう措置を講じること。
封じ込め及び浄化方法・機材：	
除去方法：	
少量の場合：	乾燥砂・土等に吸収させ、極力かき集めて密閉容器に回収する。
大量の場合：	盛り土で囲って流出を防止して、安全な場所に導いてから回収する。
二次災害の防止策：	ハロゲンガス用防毒マスクを着用すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意事項

取扱い技術的対策：	保護眼鏡、不浸透性の保護衣、保護手袋類または履物等適切な保護具を使用する。 （8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）
取扱者のばく露防止策：	局所排気、全体換気を行う。
その他：	皮膚、眼との接触を避ける。吸入又は飲み込んではいならない。取扱い後はよく手を洗う。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

保管上の注意事項

保管条件：	酸、アミン類、アンモニアとの接触や直射日光を避けて、容器を密閉して冷所で換気の良いところで貯蔵する。施錠して保管すること。
混合接触させてはならない化学物質：	酸性物質、金属。水禁忌物質

8. ばく露防止及び保護措置

成分名	管理濃度(安衛法)	許容濃度		
		日本産衛学会	ACGIH(TLV-TWA)	ACGIH(TLV-STEL)
次亜塩素酸塩	—	—	—	—
非イオン界面活性剤	—	—	—	—

注意：上記記載の—は、設定されていないことを示す。

設備対策：	局所または全体排気設備を設けること。
呼吸器の保護具：	適切なマスクを着用すること。
手の保護具：	不浸透性の保護手袋を着用すること。
眼の保護具：	適切な保護眼鏡を着用すること。
皮膚及び身体の保護具：	不浸透性の保護衣を着用すること。
衛生対策：	この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など：	赤色の粘稠な液体
臭い：	かすかな特異臭
pH：	12~14
沸点：	データなし
融点：	データなし
引火点：	データなし
発火点：	データなし
爆発限界	
上限：	データなし
下限：	データなし
蒸気圧：	データなし

相対蒸気密度 (空気=1) :	データなし
溶解性	水及び一部の溶媒
オクタノール/水分配係数 :	データなし
分解温度 :	データなし
臭いのしき値 :	データなし
蒸発速度 :	データなし
燃焼性 :	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 :	通常の使用条件で安定。
反応性 :	自己反応性なし。
避けるべき条件 :	アミン類やアンモニアと反応して、三塩化窒素を発生する。 酸と接触したり、pHが低下すると塩素ガスを発生する。
避けるべき材料 :	鉄、銅、合金等金属類、酸性物質、水禁忌物質。
危険有害分解生成物 :	塩素ガス。

11. 有害性情報

急性毒性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
皮膚腐食性・刺激性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
呼吸器感作性又は皮膚感作性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
生殖細胞変異原性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
発がん性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
生殖毒性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露) :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露) :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
誤えん有害性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。

12. 環境影響情報

魚毒性 :	
次亜塩素酸塩	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
非イオン界面活性剤	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
生態毒性 :	分類根拠 NITE の GHS 分類に基づく。
残留性・分解性 :	利用可能な情報はない
生体蓄積性 :	利用可能な情報はない
土壌中の移動性 :	利用可能な情報はない
オゾン層への有害性 :	利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 :	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装資材 :	都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合も都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこで適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号 :	1791

品名（国連輸送名）：	その他の腐食性液体
国連分類：	クラス8（腐食性物質）
容器等級：	III
国内規制	
陸上輸送：	消防法、労働安全衛生法等の規定に従う。
海上輸送：	船舶安全法の規定に従う。その他の腐食性物質（クラス8）
航空輸送：	航空法の規定に従う。その他の腐食性物質（クラス8）

15. 適用法令

労働安全衛生法：	非該当
PRTR法：	非該当
消防法：	非該当
毒物及び劇物取締法：	非該当
船舶安全法：	腐食性物質
航空法：	腐食性物質

16. その他の情報**責任の限定について**

本製品安全データシート（SDS）は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途及び使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社はSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。